

の  
す。  
は「ソ」と  
読み弁才天  
を表わしま  
す。水神ま  
たは己待供  
養の主尊と  
して建立されたものとみられます。



梵 字 の 碑

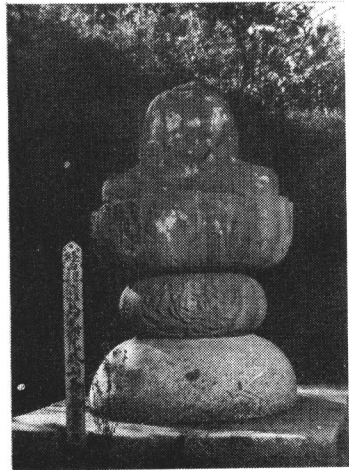
## 川越の阿彌陀像

町畑の西山、古館の北斜面の中腹に菅野家の先祖を祀る墓碑数基を建てた平地があります。その中央にある丸型の墓碑は「競竹院冠山道英居士」の碑（一三七ページ）ですが、その北に高さ一メートル、三段の蓮華台の上に安坐せる首の無い阿彌陀像が、川

越の阿彌陀仏と呼ばれる像です。

この像は、菅野氏の祖、光徳院と真樹院の墓塚で、文化五年（一八〇八）戊辰四月、菅野宗造建立と刻まれています。作者は、岳林寺の十六羅漢像と同一者と伝えられています。

首を失ったことについては、博打に負けた男が腹いせに刀で切り落としたなどと言われていますが、惜しいことをしました。墓碑に仏像を載くという例は珍しく、菅野氏の信仰心と創造心をうかがい知ることができません。



川越の阿彌陀像